

人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業

人文学データシンポジウム

「人文学研究資源としてのデジタルデータ」

# 中世寺院史料とデータベース

—断片的史料の復元をめざして

令和6年3月12日

金沢文庫学芸員 貫井 裕恵

日...  
散位讚...  
正曆三年十二月廿九日

假令甲越石帶...  
以所領地沽却...  
彼所請之直物...  
之當令申丙...  
羊十月十一夜...  
宅他難初相...  
之由...  
所借之帶沽却...  
然間於...  
也者被強盜...  
明判  
答律云...  
不坐不償...  
不遂沽却...  
奉補之由...  
盜已早...  
之物無備償...  
之由...  
所借之帶沽却...  
然間於...  
也者被強盜...  
明判  
答律云...  
不坐不償...  
不遂沽却...  
奉補之由...  
盜已早...  
之物無備償...

正元二年六月廿二日書寫授令

金澤文庫

貞須

正元二年六月廿二日書寫授令

金澤文庫

貞須

# 重文 法曹類林断簡 称名寺藏



北条実時  
(1224~76)



金沢顕時  
(1248~1301)



金沢貞顕  
(1278~1333)

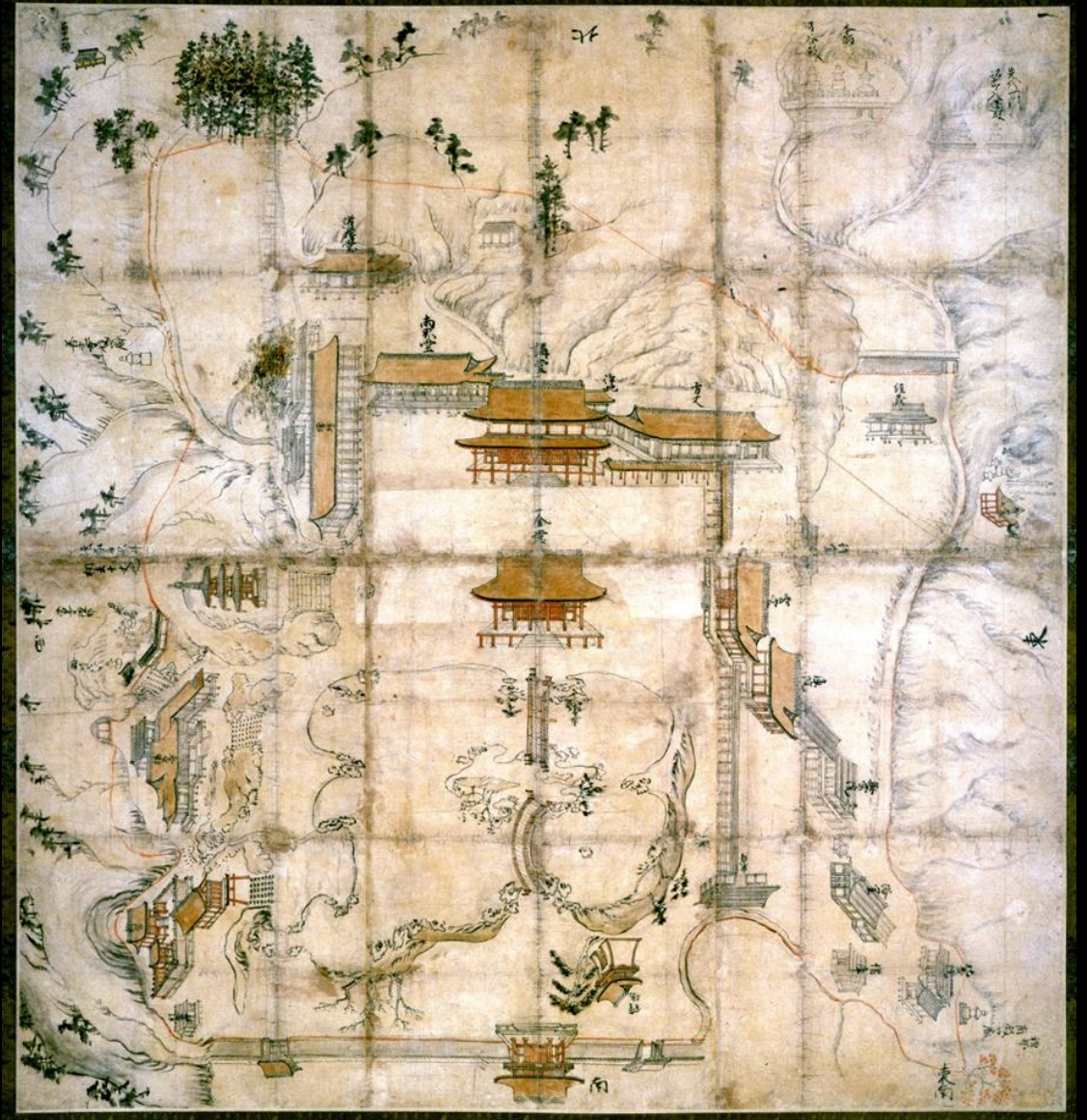


金沢貞将  
(1302~1333)

国宝 四将像 称名寺蔵 のうち



称名寺



重文 称名寺絵図 元亨3年(1323)

# 国宝 金沢文庫文書について

- 神奈川県立金沢文庫管理「金沢文庫文書」4,149点は、平成28年(2016)に「称名寺聖教」(16,692点)とともに国宝に指定。
- 称名寺(横浜市金沢区)所蔵の本史料群は、昭和5年(1930)より県立金沢文庫で整理、解読が始められる。当時、史料が少なく研究が困難とみられていた日本中世の政治、経済、文化等を明らかにする貴重な文献群であることが判明。
- 「国宝 金沢文庫文書」は、モンゴル帝国の影響を大きく受けた13世紀後半から14世紀初頭の東アジアの状況を伝える文書としても注目されている。

# 公開までの流れ

- 令和2年3月 旧データベース公開
- 令和3年10月 東京大学史料編纂所と連携協定を締結
- 令和4年4月 国宝 金沢文庫文書データベース(リニューアル版) 試行
- 令和4年6月 同データベース公開

# リニューアル版の特徴

- ①公開データの拡充
- ②検索機能の向上や結果画面の表示方法を改善
- ③スマートフォンやタブレットでの閲覧環境を改善
- ④東京大学史料編纂所データベースとの連携
- ⑤IIIF(トリプルアイエフ)への対応
- ⑥JDcat(人文学・社会科学総合データカタログ)との連携



National treasure  
Kanazawa Bunko document database

文書を閲覧

or

キーワードで検索

キーワード



西暦降順 ▼

● 詳細検索

検索

<https://kanazawabunko-db.pen-kanagawa.ed.jp/>



# 文書を検索中

## 詳細検索

×

年代  成立時代を指定  年月日を指定

成立

和暦年月日

史料名

本文

金文番号

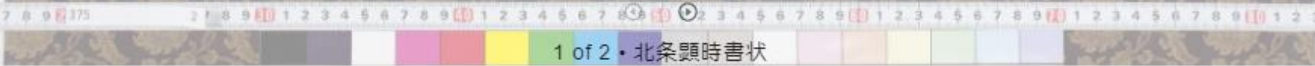
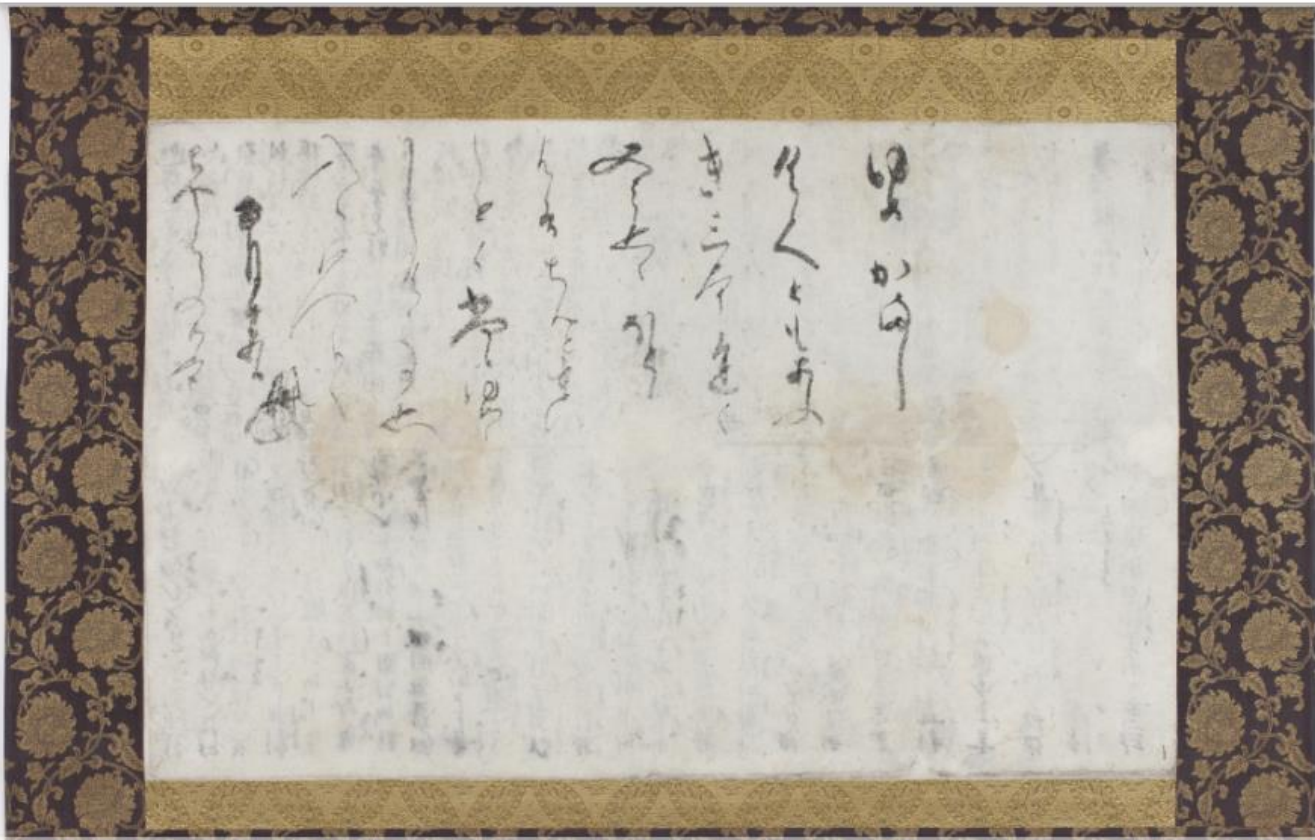
神奈川県史

遺文

条件を設定

< 検索結果

≡ 北条顕時書状



### 北条顕時書状

ゆめかましく候へとも、あふき三本進候、  
又々恐候ほと□  
は候はんとまい  
らせ候、尚ゆめ、  
しく候事、恐  
入候、恐々謹言、

五月十五日 顕時（北条）（花押）  
ちやうらうの御方（審海）

## 北条顕時書状

金文番号	2
和暦年月日	(年未詳) 5月15日
成立	鎌倉時代後期
員数	1通
形状	折紙
料紙	楮紙
法量 縦x横	縦33.1 x 横52
紙数	一紙
差出	顕時(花押)
宛所	ちやうらの御方(審海)
紙背	『夢因縁(般若用之)』(折紙、一紙完結)
付加情報	本文花押共に一筆。掛幅装に改装。
整理番号	375
遺文	鎌18397
神奈川県史	1141
最終更新日	2019-12-21

[東京大学史料編纂所ユニオンカタログで見る](#)

◀ 前件

▶ 次件

≡ 一覧



【管理番号】 v0000000016925

【和暦年月日】 (年未詳) 5月15日(55550050150)

【文書名】 北條顕時書状

🖼️ イメージ

🔗 外部リンク

📄 フルテキスト

【底本】 写真帳 金沢文庫古文書(62370011) 6171.37-9-8

📄 所蔵史料目録

【冊(巻)／頁(丁)】 8/43

【篇目】 【刊本】 2

【文書番号】 375

【分類】

【差出】 顕時(花押)

【宛所】 ちやうらうの御方

【詳細内容】 【形状】 折紙

≡ 連接データ一覧

【史料群】

底本名	架番号	冊	頁	和暦年月日	文書名	分類	画	リンク
鎌倉遺文	1070-128	24	74	(鎌倉後期) 5月15日	金沢顕時書状	金沢文庫文書		
金沢文庫古文書	1071-17	1	2	(年未詳) 5月15日	北條顕時書状	第一輯武将書状篇		

[データベースについて](#)

[利用規定](#)

[データベース更新スケジュール](#)

[よくあるご質問](#)

## 北条顕時書状

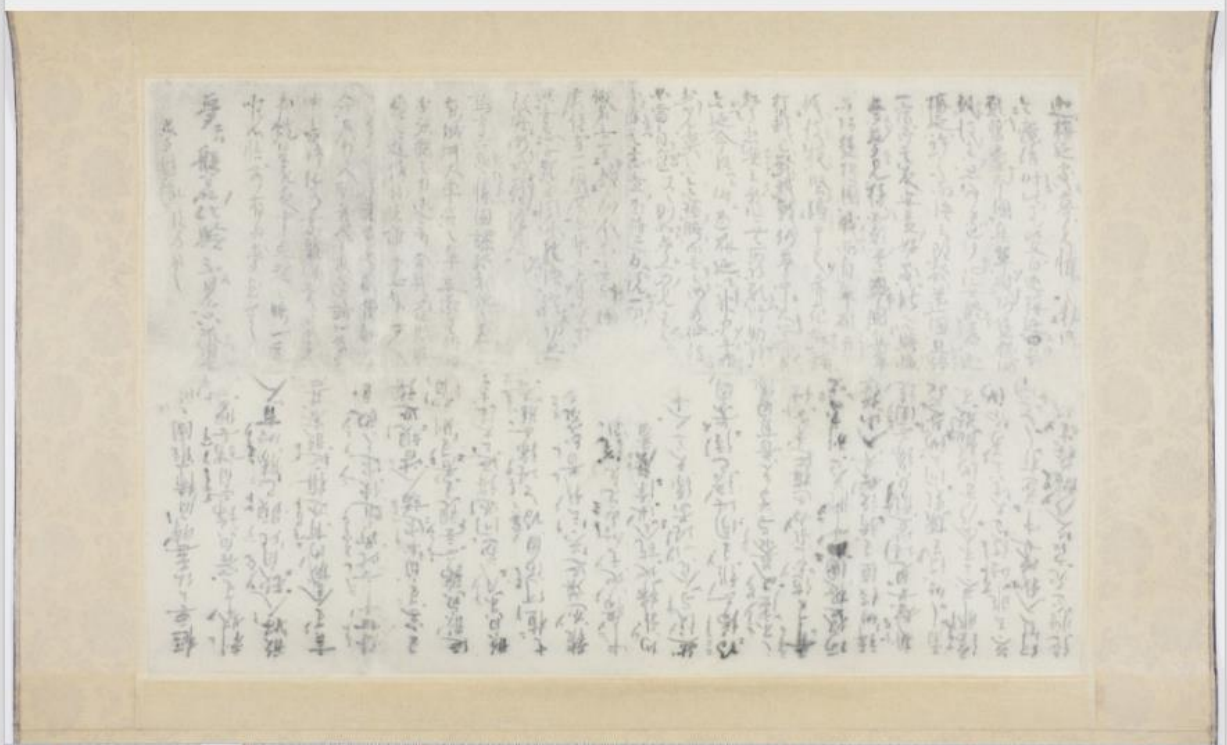
金文番号	2
和暦年月日	(年未詳) 5月15日
成立	鎌倉時代後期
員数	1通
形状	折紙
料紙	楮紙
法量 縦x横	縦33.1 x 横52
紙数	一紙
差出	顕時(花押)
宛所	ちやうらの御方(審海)
紙背	『夢因縁(般若用之)』(折紙、一紙完結)
付加情報	本文花押共に一筆。掛幅装に改装。
整理番号	375
遺文	鎌18397
神奈川県史	1141
最終更新日	2019-12-21

[東京大学史料編纂所ユニオンカタログで見る](#)

# 紙背文書

< 検索結果

北条顕時書状



2 of 2・北条顕時書状（紙背）

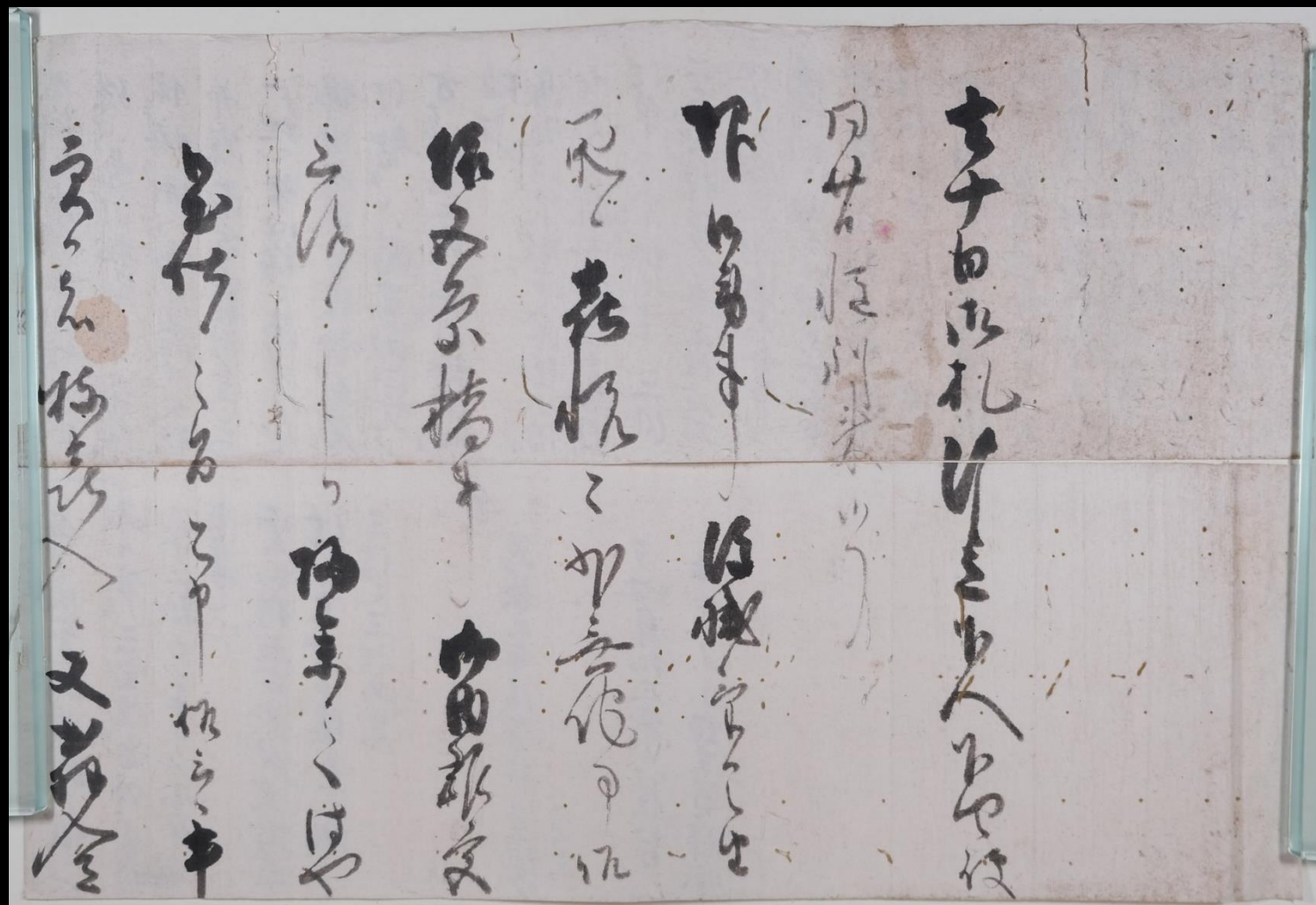
## 北条顕時書状

ゆめかましく候へとも、あふき三本進候、  
又々恐候ほと□  
は候はんとまい  
らせ候、尚ゆめ、  
しく候事、恐  
入候、恐々謹言、  
五月十五日 顕時（北条）  
ちやうらうの御方（審海） （花押）

當流口傳 若思慮忘私記之空範  
 外形格口 書 小卷物不二流  
 者皆流阿圖架位流頂也口  
 然 身尸 阿圖架位不尔言  
 然而今何以五古 爲了了位  
 訂之尔哉 答尔同口傳但  
 瑜祇十二尔冬別 以五古  
 爲了了物尔習在之流可尋  
 習 了了位 尔了了 五了了尔  
 五古 五了了 尔也  
 同小卷物中 秘密流頂者當  
 流 秘密訂也 付法傳云 尔了了  
 根本寂極傳法尔 尔 今尔  
 始解 文學尔 爾之付此 大事  
 善不同有之 也不知正流之  
 口傳 人 爾之訂之相承 奉除  
 金智之象 以尔 罪障也 訂殊  
 勝相兼 雖勝之二義 深可思之  
 其細如 甚同記 生當流 爾  
 口史也  
 或人云 善無畏 金剛智法代大  
 事 付法 善不同 論是非也  
 甚故 於南 部相承 彼有 三  
 後 眼 金 金 金  
 向因之深 秘 尔也

国宝 当流口伝 称名寺蔵

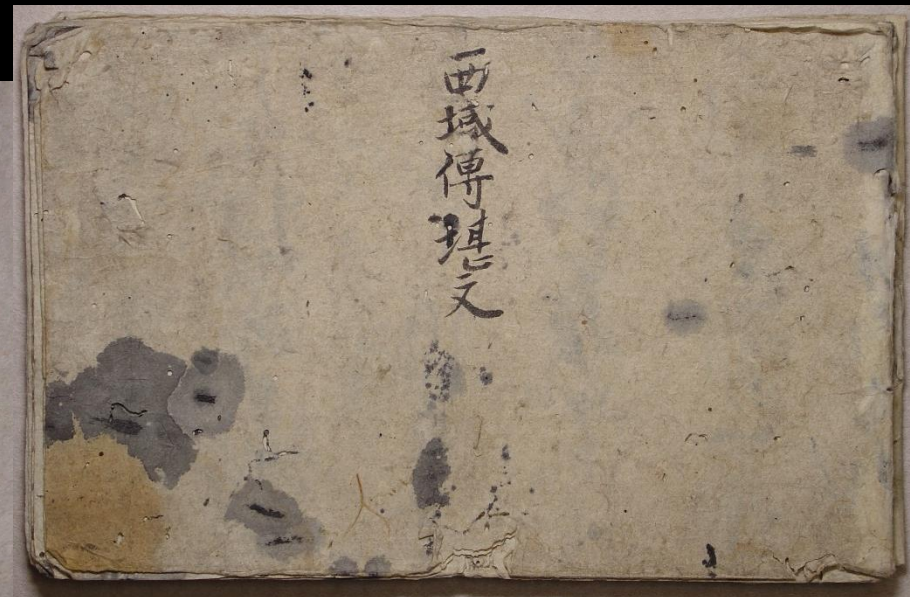
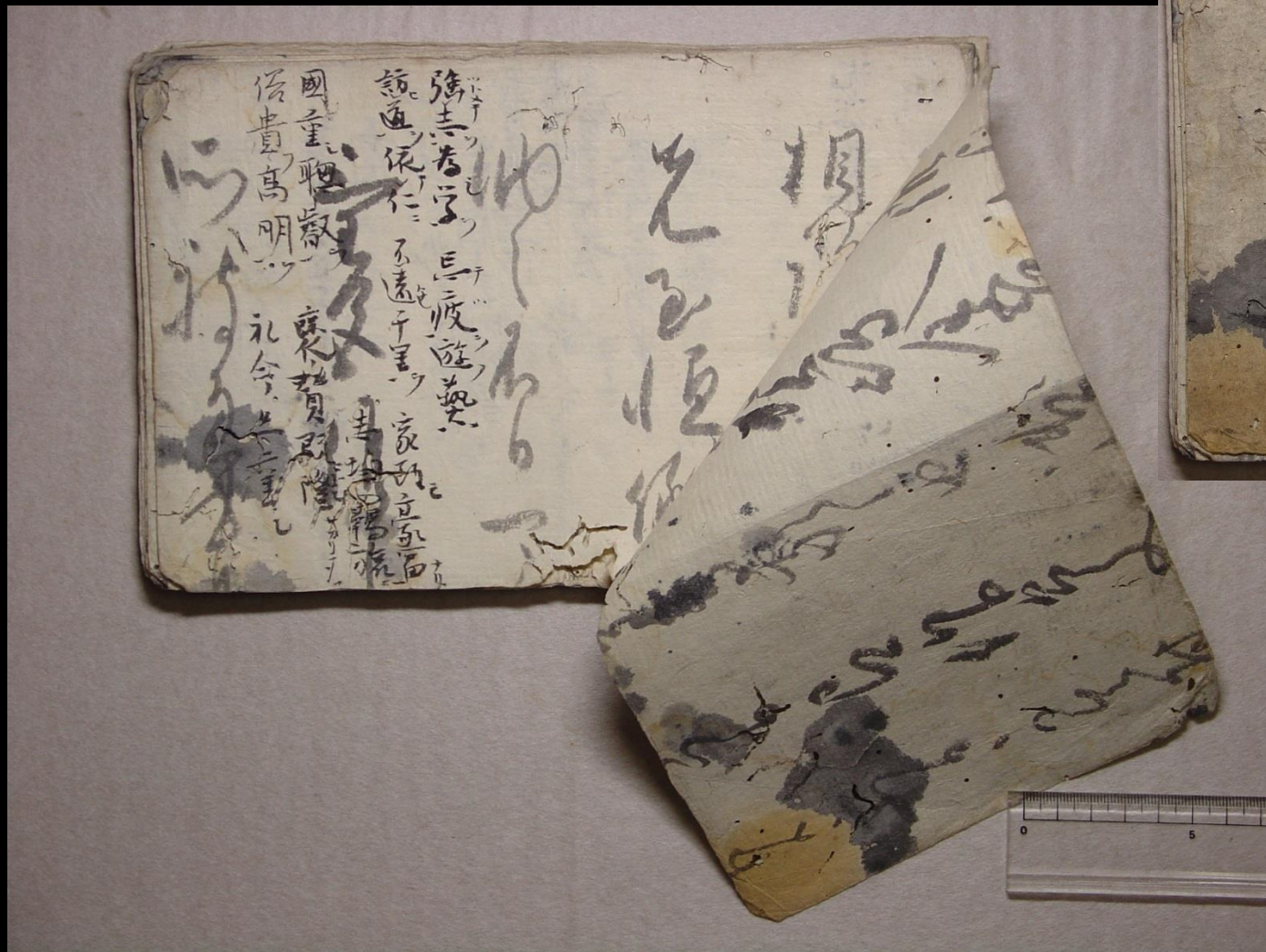
# 紙背文書



国宝 金沢貞顕書状(当流口伝 紙背)称名寺蔵



# 紙背文書



国宝 西域伝堪文 称名寺蔵

華嚴經孔目章卷第一  
温春

1  
去々々々々々々々々々々々  
下下下下下下下下下下下  
高下下下下下下下下下下  
下下下下下下下下下下下  
下下下下下下下下下下下

国宝 華嚴經孔目章 称名寺藏



兼好法師像 神奈川県立金沢文庫蔵

# 古俵の中から 兼好法師の手紙 寶を秘めた金澤文庫

◆縣立圖書館稱名寺境内金澤文庫の書庫にうづ高く積まれた俵詰めの古文書を目下文庫長が整理中であるが珍しい文獻が續々と發見

され中には國寶の價値あるものが出来たので十二日關谷社會教育局長がわざわざ來濱縣吏員の案内で引上げた

◆珍しいものとしては徒然草の著者兼好法師から稱名寺任職にあつた手紙と連歌百首が一つも缺けずに出て來た、これは俳諧宗匠勝峰普風氏が珍しいものとして氏の機關雜誌「實燈」に掲載したところこれを見た京大の頼原助教がこの度來濱調査したところ連歌は現在あるものでは豊臣時代のものが最も古く、これは更に二百年古いものであると折紙をつけられたものである

◆稱名寺開山の密海上人の像畫は國寶もので寧一山が贊をしてある當時正木東京美術學校長がこれには折紙をつけまた津巖經の解説の様なもの、孔目章が發見されその途の權威者今津氏が國寶ものとして

れも折紙がついたこれまで整理されたものは千五百點に及びなほ數千點あるので今後の整理と共に一層珍品が發見されようと縣では大いに意氣こんである

神奈川東京日日新聞  
昭和7年(1932)4月13日付

大阿闍梨隨身物 雜座壇阿闍梨隨身物  
 借渡物 兼王祭所器  
 借掛兼所課 尤女京儀所儀  
 諸掛若所儀 膳所課  
 自來字許渡物

修書  
 一 大阿闍梨隨身物  
 打馬一口 五登木  
 一 雜座壇阿闍梨隨身物 寶座  
 藏四本  
 五色糸一條  
 大小杓各一枝  
 第一只  
 朗伽器一箱 兼六段  
 火舎一口  
 承仕一人  
 云法三年

大阿闍梨隨身物 雜座壇阿闍梨隨身物  
 借渡物 兼王祭所器  
 借掛兼所課 尤女京儀所儀  
 諸掛若所儀 膳所課  
 自來字許渡物

修書  
 一 大阿闍梨隨身物  
 打馬一口 五登木  
 一 雜座壇阿闍梨隨身物 寶座  
 藏四本  
 五色糸一條  
 大小杓各一枝  
 第一只  
 朗伽器一箱 兼六段  
 火舎一口  
 承仕一人  
 云法三年

国宝 下部兼好書狀懸紙 称名寺藏

後山所傳之河一便之月平  
一日所成之極海洛一可目之百  
福地之極海河之極東  
与右元入之官之月者人又  
大坂妙之寺之極中一極極下  
之極一也之極一極動之極進  
之極一也之極極之極之極進  
當自修小之極中一極極之極  
初之極師之極之極之極之極  
細之極之極之極之極之極之極  
之極之極之極之極之極之極

国宝 金沢貞顯書状 称名寺蔵

滿  
文

二十一人

和子

若以中

形念

榮行

出

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. A red vertical line is drawn through the text on the left side of the page.

国宝 氏名未詳書状 称名寺蔵



甘露經... 意字於生死未生  
不識及反... 過去現在未來皆  
皆在此字門矣... 亦此法而成就  
矣... 無有此慶... 不出供大發  
而... 中央楞一切... 楞已午  
持八福輪... 種子... 字... 又

可思... 表事... 同八... 度... 者... 子...  
故... 其... 依... 行... 著... 淨... 日...  
師... 之... 面... 禮... 子... 三... 戶... 亦... 取... 其...  
由... 未... 分... 明... 又... 無... 何... 情...  
成... 遠... 序... 作... 的... 指... 抄... 文... 在...  
二... 十... 十... 許... 文... 可... 取... 成... 以...

三昧狀事

同八福輪... 輪... 為... 三... 取... 其... 意... 行...  
若... 佛... 口... 傳... 之... 八... 輪... 全... 輪... 者... 氣... 八... 丈...  
仙... 頂... 之... 中... 央... 輪... 者... 中... 其... 有... 一...  
切... 仙... 頂... 之... 輪... 一... 切... 仙... 頂... 之... 輪... 一...  
持... 八... 福... 輪... 者... 處... 七... 貢... 師... 子... 座... 又...  
八... 福... 輪... 者... 亦... 持... 物... 故... 為... 三... 取...  
其... 意... 亦... 明... 也...

道功觀事

仰... 口... 傳... 之... 中... 央... 輪... 者... 中... 其... 有...  
觀... 輪... 者... 同... 父... 頂... 者... 也... 又...  
報... 恩... 說... 之... 中... 央... 輪... 口... 傳... 不... 得... 意...  
其... 及... 八... 仙... 頂... 大... 輪... 一... 輪... 輪... 向...  
心... 生... 全... 中... 央... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...

此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
同... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
同... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...

此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
同... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
同... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...

此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
同... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
同... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...  
此... 字... 輪... 者... 亦... 持... 輪... 者... 不... 生...

氏名未詳書狀紙背：秘鈔口決本鈔卷2 鈕阿本

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho) on aged paper. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. A prominent vertical red line is drawn through the middle of the page, separating the text into two sections. The characters are fluid and expressive, typical of the cursive style. The paper shows signs of age, including discoloration and some wear at the edges.

国宝 氏名未詳書状 称名寺蔵

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and fills most of the page. A prominent red vertical line is drawn across the page, approximately one-third of the way from the left edge. The text appears to be a list or a series of entries, with some words or phrases being more clearly legible than others due to the cursive style. The overall appearance is that of a well-used, historical record or account.

將成金剛寶蓮之故身其根  
 係在行共而於初一念中  
 心大日佛淨亦如三寶位可  
 果合之 又淨日為制意  
 之陽念也衆生其子地趨過本  
 者之故仰執之其左應作机不  
 若日及右時及深浴若淨  
 与不淨常應不同新舊雜  
 於新乳乃中野流以此淨殊  
 為十八通在子可思之  
 本字習事  
 同心平于習會同於勤習其  
 故一 念所日三井流如五  
 被得交  
 不空爾索作光之借助被廣  
 皮衣之 於被麻皮衣七  
 資學路在藏之者之  
 又止合常被麻皮衣之  
 教之此為又麻皮之  
 不如此見之  
 佛無尋經之聚麻皮製案而  
 後遊藏 於不聚見之  
 下真言事  
 根本中 於子乳者蓮花案下火水  
 北石石六指蓮花設火空  
 朝隆傳之連合上三預指以之  
 合二天以于一成清淨案下

氏名未詳書狀紙背: 秘鈔口決本鈔卷8末 鈕阿本

備言者不降起亦不自盡  
 此由一字頂輪之威使病故  
 一字頂輪已徑一之全則幸有此  
 伴攻之可保布履一切魔不  
 得其便何又此行也  
 又若有入補持慶之有宿  
 因一切明也同也同不流迴不  
 成就。若後後念此真言一切  
 世間也同真言是皆成就也  
 一而後真言才一切可成就。  
 由信此化原教也三之不用  
 此真言七及補之則其才寂靜  
 若不然矣其功德無能堪述又

余言此真言者不降起亦不自盡  
 此由一字頂輪之威使病故  
 一字頂輪已徑一之全則幸有此  
 伴攻之可保布履一切魔不  
 得其便何又此行也  
 又若有入補持慶之有宿  
 因一切明也同也同不流迴不  
 成就。若後後念此真言一切  
 世間也同真言是皆成就也  
 一而後真言才一切可成就。  
 由信此化原教也三之不用  
 此真言七及補之則其才寂靜  
 若不然矣其功德無能堪述又

氏名未詳書狀紙背：秘鈔口決本鈔卷2 鈕阿本

詠五十首和歌

春

花十三  
十一  
卷十  
一

夜

春

海

春

紫

青

雲

雲

花

雲

花十三  
十一  
卷十  
一

国宝 詠五十首和歌 称名寺藏



後の口甘軍荼利者  
智多執是灌頂觀之行此  
人于諸位頂位即成位  
已故任文只於此生不轉因  
才筋成大仙事故利益而  
有情獲仙方

八丈頂者乃大明事  
御傳凡於八丈頂異名  
其教多委細如常書院抄  
并玄秘本不真言如胎者  
又一字頂轉令相軌在二  
位之中用不任意  
裏書之 刻於八丈頂者

八丈

秘鈔

本鈔第二卷

甘口軍荼利者頭轉  
其狀抄之轉一切三  
未台頂一切頂  
本又百十所  
燈明所  
動而  
未  
甘  
十  
深  
世  
於  
於  
於  
於  
於

金輪

大佛頂

尊勝

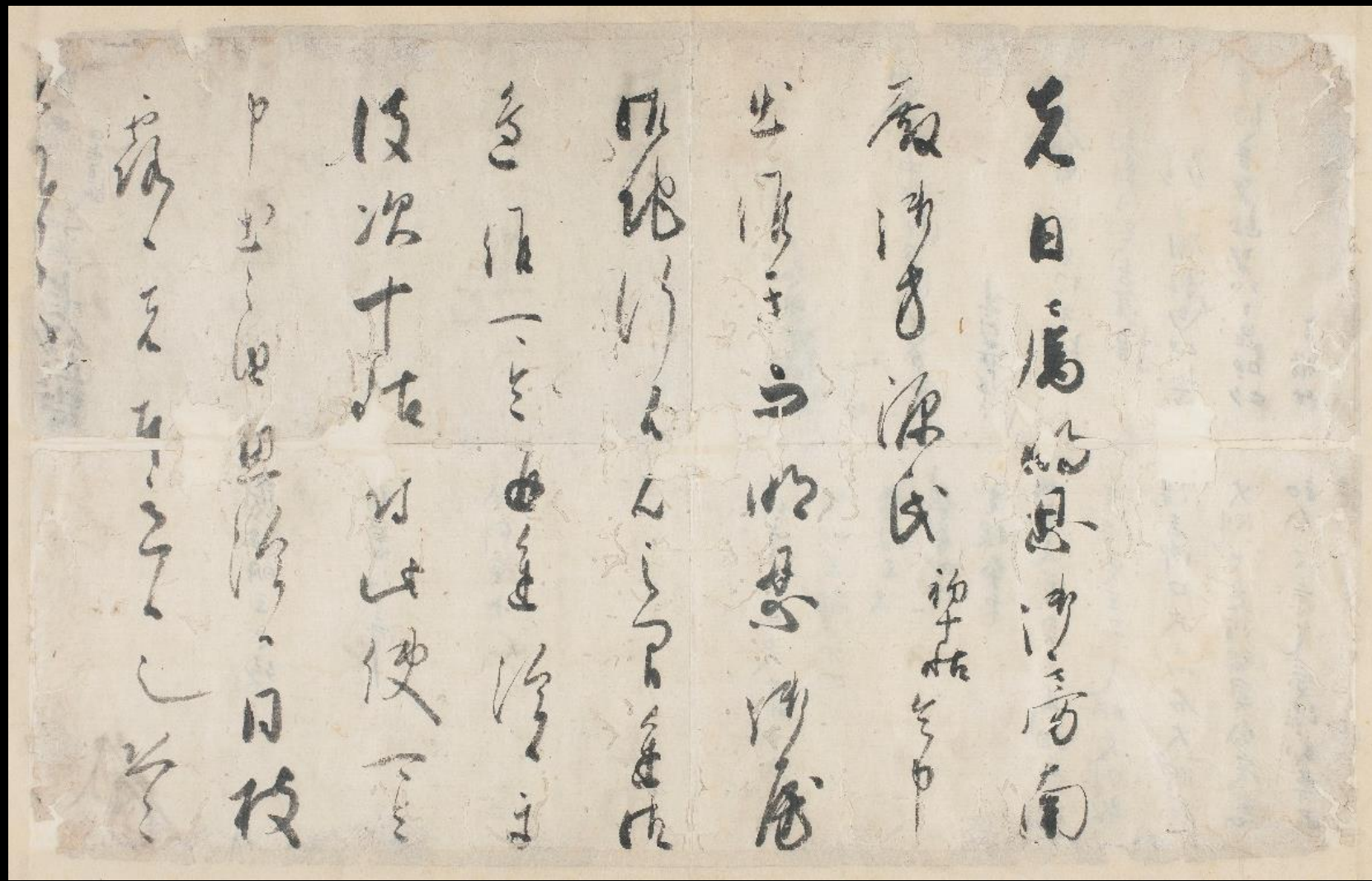
秘鈔口決本鈔卷2 鈕阿本 称名寺藏





国宝 秘鈔口決本鈔卷13末 鈕阿本 称名寺蔵

# 墨映文書



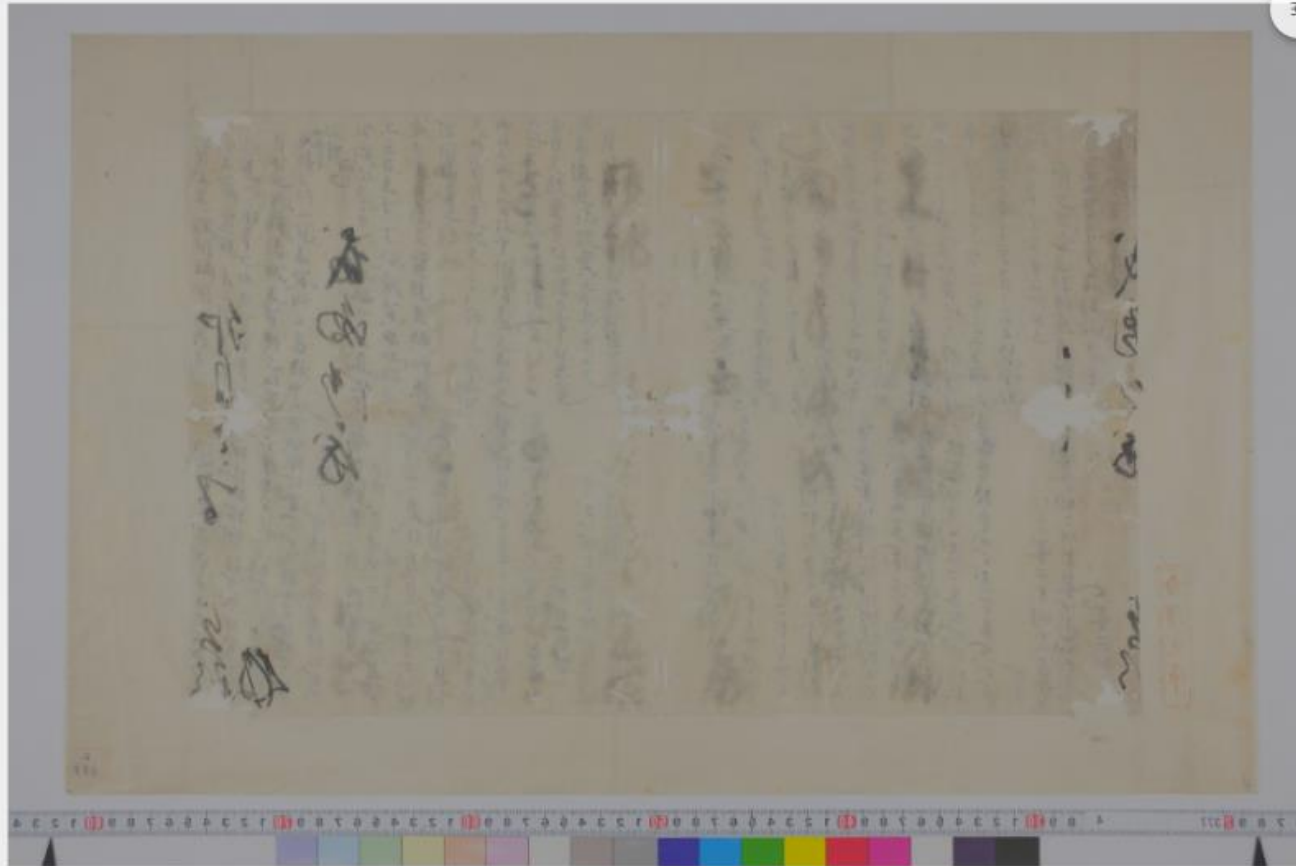
国宝 金沢貞顕書状 称名寺蔵



墨映(影)文書

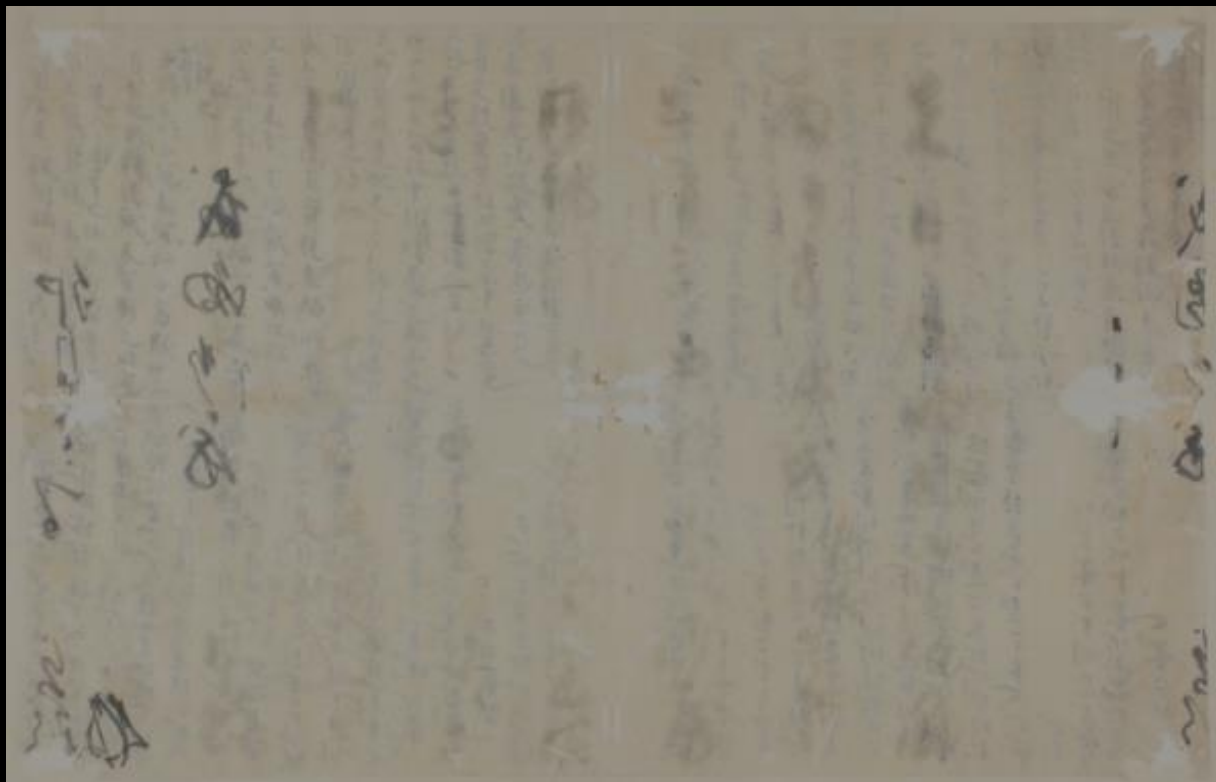
< 検索結果

≡ 金沢貞顕書状

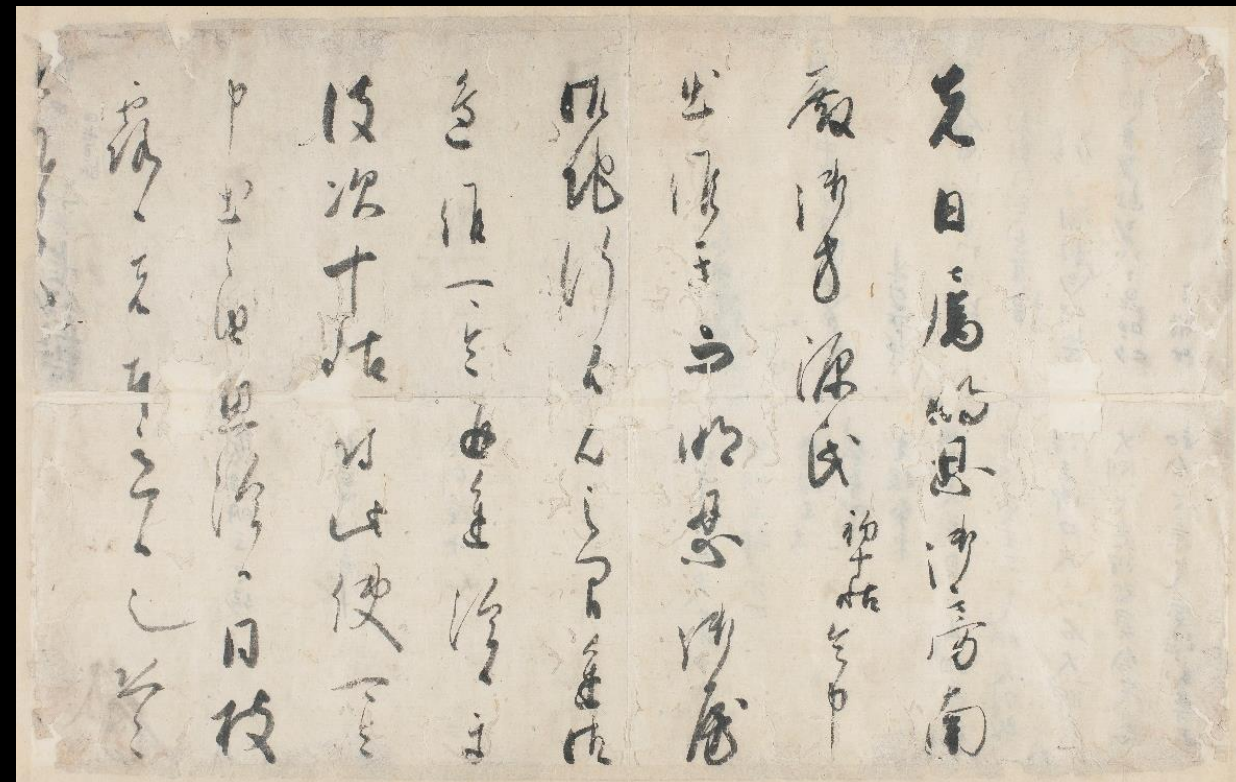


1 of 2 • 金沢貞顕書状

IIIF機能を用いて金沢貞顕書状を反転し調整を加えた



墨映(影)文書



もとの文書

# 今後の課題

- ・IIIFをプラットフォームとした画像・刊本との校合  
アノテーション機能の充実が必須
- ・画像へ多彩なアノテーションを付与  
テキスト・字形(筆跡)・花押・人名・地名などのメタ情報と連結
- ・テキストデータのTEI(Text Encoding Initiative)導入  
割注、傍注(ふりがな、人名注、地名注等)と本文に構造をもたせて「3次元化」
- ・Google Mapをもちいた、地名情報のmapping  
他のデータベースとの連携を充実化
- ・紙質調査の成果を反映:顕微鏡写真を搭載

# IIIFをプラットフォームとした他のデジタルアーカイブを活用した校合も可能に

京都大学 KYOTO UNIVERSITY

日本語 English

京都大学貴重資料デジタルアーカイブ

コレクション 検索 お知らせ サイトについて 京都大学図書館機構

Image 5 of 341 Go

CONTENTS 秘鈔口決 11巻



MORE INFORMATION

マニフェスト Universal Viewer Mirador

## 秘鈔口決 11巻

レコードID	RB00012956	このページへリンクする際は、以下のURLをご利用ください。 <a href="https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00012956">https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00012956</a>
出版年	1555	
タイトルヨミ	ヒショウ クケツ	
別タイトル	ローマ字タイトル: Hishō kuketsu	
著者	寛印著・堯運筆	

巻号  
01 02 03 04 05 06 07 08 09 10  
11